

【編集・発行】

社会福祉法人 阿見町社会福祉協議会
平成26年1月24日発行

【事務局】

阿見町阿見4671-1
総合保健福祉会館(さわやかセンター)内
E-mail: fukushi@amishakyo.or.jp(代表)
U R L: <http://www.amishakyo.or.jp>
Tel. 029-887-0084
Fax. 029-887-9934

阿見町社協

検索

千年生まれの

笑顔さん



- P2 新年のごあいさつ
- P3-P5 社協事業紹介
- P6 ありがとうコーナー
- P7 ボランティアコーナー
- P8 お知らせコーナー





社会福祉法人 阿見町社会福祉協議会会長 天田 富司男

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から阿見町社会福祉協議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りまして、心より感謝を申し上げます。

さて、わが国は本格的な少子高齢化の進行という大きな問題に直面しております。地域社会におきましても、人と人とのつながりが希薄化していると言われています。そのような中、町内では地域福祉計画をつくり、町民相互の交流を進め、地域コミュニティを再構築していこうという地区も出てきております。地域の課題を地域で考え、行動していくということは、大変素晴らしい取り組みであると思います。この動きが、町内に広がっていくことを期待しております。

社会福祉協議会では、これからも、行政サービスと住民の直接自助の間に存在する公益民間法人として、行政から住民ニーズに即応した業務を受託し、適切なサービスの提供に努めてまいります。

本年も「みんなで支えるやさしいまちづくり」に向け、社会福祉協議会役職員一丸となり、より一層の努力を続けて参りますので、町民の皆様の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

災害ボランティアセンター運営者研修に参加して

10月16日～18日 東京都
全国社会福祉協議会にて

平成23年3月の東日本大震災、平成24年5月のつくば市の竜巻被害、平成25年は相次ぐ大型台風による強風や豪雨で河川の氾濫や土砂崩れなど、各地で災害に見舞われています。

研修会では、全国各地から担当者が集まりそれぞれの地域での取り組みを知ることができ又、それぞれの意識、組織としての考え方もまちまちでした。

災害におけるサイクルとして、発災から応急対応、復旧・生活再建、さらには復興、そして平時および防災・減災とつながっていきます。災害ボランティアセンター(以下 センター)では、多種多様なニーズが求められ、災害が起こる前の地域性や住民の主体性を尊重し、多様な課題に向き合うため様々な機関と連携を生み出す力が試されます。そこで次の5つの機能が運営者に求められます。

- ◆ Community(地域性を大切にする)
- ◆ Collaboration(協働体制を創り出す)
- ◆ Cooperation(個別・多様・柔軟な支援活動を創り出す)
- ◆ Coordination(被災者とボランティアをつなぐ)
- ◆ Communication / Care(組織の運営を好循環させる)



これらの機能を生かしつつ、運営に対するマニュアルを整備することも大切です。

災害を考える

災害ボランティアセンターを運営する者として、様々なニーズに応えるべく「受援力」(被災者支援や復旧・復興のための、ボランティアや企業、他の自治体など外からの支援を最大限に生かすこと)を高め、関係機関との関わりの中で、住民ニーズを重視したセンターの構築が求められます。

センターの運営や内容は絶えず変化していくため、住民と向き合いながら、話し合いの場を持ち運営し続ける必要があります。生活問題等消せない問題への対応を含めながら、社会福祉協議会のあるべき原点に帰り、まちづくりのための支援を展開していく必要があります。

平時から社会福祉協議会は、住民－地域－行政－関係機関とのつながりを大切に、常日頃から「支え合う」という住民意識を強くし、災害時に助け合える強い地域づくりに取り組んで行く、そんなことを再確認する研修となりました。

社会福祉協議会 地域福祉係 酒井



阿見町社会福祉協議会 デイサービス



謹 賀 新 年

昨年は、当デイサービスの運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え職員一同気持ちも新たに、更なるサービス向上に努めます。

平成26年も阿見町社会福祉協議会デイサービスをよろしくお願い申し上げます。



今年もたくさんの笑顔
が咲くように、職員一同
頑張ります!!



お風呂が新しく なりました!!

昨年10月より、新しい入浴装置を導入致しました。コンパクトながら、つま先まで伸ばせるゆったり設計。水圧によるジェット噴流も付いて、気持ちが良いと好評です♪



椅子に座ったまま、浴槽に入ることが出来るお風呂です。
一般浴では入浴が難しい方も、安心して入って頂くことが出来ます。



ほのぼのレクリエーション

～りんごと温泉の地・太子町～



各中学校区ごとに、10/11、22、25の3日間に分けての“ほのぼのレクリエーション”、りんごとともに色づき始めた秋の太子町で、町内のひとり暮らしの高齢者のみなさんにゆったりとした時間を楽しんでいただきました。最終日は大型台風の影響も心配されていましたが雨もほとんど降らず、元気に行ってきました!

まずは温泉施設『森林の温泉(もりのいでゆ)』で、にぎやかに昼食をいただきました。楽しいおしゃべりが食事に花を添え、その後はそのままのんびり過ごす方あり、温泉に浸かる方ありと、それぞれの楽しみ方を満喫していたようでした。

おなかも身体も温くなった後は、NHKドラマ『おひさま』の舞台となった『旧上岡小学校』を訪れました。堂々とした佇まいの木造校舎や、木のぬくもりの残る机やイスなど、どれも記憶の片隅にあるものを感じ出させてくれる風景ばかりでした。ギンギンとなる木板の階段を登ると、こじんまりとした講堂がありました。「昔は体育館がなかったから、入学式や卒業式はこんなところで



木造校舎や木製机など、懐かしさでいっぱい

やったっけなあ」と語りながら、校長先生のように壇上で胸を張って立ってみる方もいました。

道の駅で真っ赤に光るりんごなどを買い、「今日は楽しくてあつという間だったね」と言いながら、たくさんの思い出やお土産と一緒に夕日の中を帰りました。



ほっこりとした雰囲気の中、語りいながら一緒に時を過ごす



第6回家族介護支援事業

介護者交流会



今回の介護者交流会は、 「プリザーブドフラワーでつくる 簡単クリスマスリース」

12/1(日)、4(水)に中央公民館で小林よし子先生を講師に迎え、介護者交流会を開催しました。

色鮮やかなプリザーブドフラワーとやさしいラベンダーの香りに包まれ、癒しのひとときをゆったりと過ごしなが、素敵なクリスマスリースを作りました。



色使いに迷うのも、
楽しみのひとつ!



先生を囲んで、完成披露会



素敵なリース♪飾るのが楽しみ

プリザーブドフラワーアレンジは初めてという参加者が多く、講師の丁寧な指導で黙々と手を動かしたり、時にはおしゃべりをしながら、交流を深めました。



ファミリーサポートセンター事業



12月7日(土)、歳末ふれあい交流会
「ファミリー・サポートを知ろう」
コーナーで説明させていただきました。



利用方法や活動内容を説明しました。

活動 内容



子どもの預かり



保育施設等の送迎



産前産後の家事援助

利用料金：1時間800円

利用時間：7時～21時



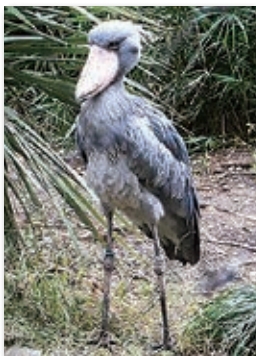
サービスを利用したい方(利用会員)活動を実施する方(協力会員)随時登録をお待ちしています。
お気軽にご連絡ください。

なかよし広場(善意銀行主催による障害児レクリエーション)

10月19日(土) あいにくの曇り空、総勢63名で上野動物園・アクアシティお台場へ行ってきました。上野動物園は久しぶりという方や初めて来るという方もおられ、皆さんお目当ての動物を見ていました。やはり一番人気は「パンダ」なのでしょうが、「ハシビロコウ」という、あまり動かない鳥もインパクトがありました。アクアシティお台場では、おいしい食事をし、短い時間ではありましたが、楽しい一時を過ごしていただきました。



上野動物園



ハシビロコウ



お昼寝中zzzz...

歳末ふれあい交流会



プレゼントをもらってにっこり!



12月7日(土) 親子のふれあいの機会として“歳末ふれあい交流会”を開催しました。開会時は、曇り空だったのですが、「サンタクロースが空からやってくる!」の直前、雲がきれ太陽が顔を出し、とてもきれいな青空をバックにサンタクロースが降りてきました。その姿を見上げる子どもや大人の笑顔が印象的でした。平成26年のカレンダーに思い思いの絵を描いたりお買い物ゲームやカントリートレインを楽しんだりと参加者の皆様、それぞれ楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

この事業は、“歳末たすけあい募金”で実施しています。ご寄付いただきました皆様方に深く感謝致します。



カントリートレインで童心に



カレンダー上手にできたかな



ありがとうコーナー



阿見町善意銀行

中山 春希	2,843円
大崎 結衣	4,406円
阿見ライオンズクラブ	麦茶(1ケース) ジュース(2ケース)
読売新聞 荒川沖東口販売店	46,913円
阿見緑の会	15,000円
高橋 英明	タオル 106本
鬼武 祐二	未使用切手 590円分
キヤノン(株)阿見事業所	57,396円
阿見町民生委員児童委員協議会	2,254円
阿見町図書館	17,698円
匿名	玄米 90Kg
一般社団法人 日本ゴルフツアー機構	100,000円
株式会社 平和	100,000円
退職公務員連盟 阿見班	タオル309本、洗剤、 軍手、オムツ等
阿見町ボランティア連絡会	37,577円
匿名	3,000円
(株)ヒュリカ	10,000円
映画いどり上映実行委員会	67,550円
匿名	100,000円

平成25年10月1日～平成25年12月31日 (敬称略)



町善意銀行では、各事業所、施設等に愛の募金箱の設置を依頼し多くの方々よりご協力いただきました。これらの募金は、社会福祉への総参加による事業推進の資金源として活用させていただいております。

(順不同・敬称略)

予科練平和記念館	阿見中学校	阿見青宿郵便局	吉原小学校
阿見第二小学校	阿見町役場 秘書課	学校法人霞ヶ浦高等学校	実穀小学校
特別養護老人ホーム 阿見翔裕園	阿見町役場 会計課	茨城県自動車学校土浦校	茨城県立霞ヶ浦聾学校
楽生	阿見小学校	福祉センターまほろば	阿見ゴルフ練習所
阿見郵便局	阿見中央一郵便局	竹来中学校	朝日中学校
原理容室	阿見第一小学校	舟島小学校	本郷小学校
キリン協和フーズ(株)土浦工場	(有)カワサキスタジオ	舟島ふれあいセンター	本郷ふれあいセンター
霞ヶ浦薬剤センター薬局	阿見第一クリニック	君原小学校	常陽銀行(株)荒川沖東支店
三菱化学(株)筑波総合研究所	マイアミショッピングセンター	君原公民館	うずら出張所
フタムラ化学(株)茨城工場	町民活動センター	ココストア阿見中央店	阿見中央公民館
筑波銀行(株)阿見支店	水戸信用金庫 阿見支店	理想科学工業(株)筑波工場	ケアセンター阿見
JA茨城かすみ阿見支店	かすみ公民館	(株)ソムラ茨城工場	社会福祉協議会
合 計			172,671円

〔お詫びと訂正〕

10月25日発行の広報紙「社協だより」103号の記事中の募金活動協力店舗名の誤りがございました。「カスミ荒川沖店様」は、正しくは「カスミ本郷店様」です。以上のように訂正し謹んでお詫び申し上げます。

使用済み切手 書き損じ葉書収集

谷 園枝	川村和江
筑見区有志	安相賢二
倉持南美代	匿名
マルカン酢(株)	鬼武祐二
役場町民課	村山芳子
うずら出張所	役場障害福祉課
阿見インディアカ	役場税務課
阿見町母子寡婦福祉会	木村紀子
湯原病院	理想科学工業(株) 筑波工場
藤井光子	フタムラ化学(株)
小島尚子	退職公務員連盟阿見班
石塚節子	本郷小学校

12月4日「一般社団法人日本ゴルフツアー機構」様より100,000円、「株式会社平和」様より100,000円
12月19日「映画いどり上映実行委員会」様より67,550円
阿見町社会福祉協議会善意銀行へご寄付いただきました。
ご厚意に感謝し、福祉活動に有効に利用させていただきます。



一般社団法人日本ゴルフツアー機構 映画いどり上映実行委員会様より
株式会社 平和 様より



ぼらんていあ

阿見町ボランティア連絡会視察研修に参加して

阿見朗読の会 小林 恵美子

11月7日(木)、あいにくの小雨の中、参加者34名で福島県いわき市社会福祉センターを訪問し、いわき市ボランティア連絡協議会と交流をし、義援金をお届けしました。

交流会は10時から始まり、はじめに職員の方からいわき市の震災時の様子や、災害救援時の様子、災害救援ボランティア・復興支援ボランティアの活動について説明がありました。また、いわき市は他の市町村からの避難先として多くの避難者を受け入れ、不安と混乱の中から復興に向けて歩んでこられたとのことでした。災害時には何が必要で大切かを学ぶことができました。次にいくつかのグループになって地元のボランティアの方たちと話し合いました。私たちのグループは「声の奉仕グループ」「点訳グループ」のお二人から幅広い活動内容とボランティア会員の数の多さを聞き大変羨ましく思いました。

交流会は11時30分までの短い時間でしたが、地元のボランティアの方との意見交換はとても勉強になりました。

会津若松市へ移動して大河ドラマ「八重の桜」の舞台となった鶴ヶ城では、ドラマと重なるところもあって、展示資料などを興味深く見学しました。今回いわき市と会津若松市を訪れることができまして、大変有意義な視察研修になりました。



いわき市社協ボランティア連絡協議会との交流の様子

青空市に参加して

傾聴ボランティアかがやき 渋谷 敬子

11月24日(日)、真っ青に澄み切った青空の下、「青空市」が開かれました。当日は、ボランティア連絡会がさわやかフェアで予定していた「大判焼き」と飲み物を売りました。初めての経験でしたので、全て先輩の皆さんに指導していただき、裏方の生地作り、お客様を前にしての大判焼き、生地を機械に流し入れあんこを入れる。生地やあんこが多かったり、少なかったり形の良い大判焼きを作るのが本当に難しい。焼き上がるまで15分はかかるので、購入するお客様が待っている。「あわてない、あわてない!!」

焼き上がりを確認してお客様へ……。夢中で大判焼きを作り、先輩達との連携プレーは疲れを忘れさせ、あっという間に昼食の時間でした。ボランティア活動をしてくれる仲間達が、美味しいカレーや果物、コーヒーを準備してくれました。他のテントからも焼き菓が届いたり、豚汁が届いたり、人と人との支え合い、共感し合う素晴らしい一日を経験することができました。

“目からうろこが落ちた!”活動研究集会

阿見緑の会 斉藤 猛

ボランティア! いい響きだ。被災地で活動する若者、テレビの画面にボランティアの姿が映る。生活に追われていた時期を過ぎ、多少時間に余裕の出来た今、自分もやりたい! でも被災地に行っても、今の体力では足手まといになるだけだ。と悶々としていたとき、ある研修会で目からうろこが落ちました。その研修会とは「県南ブロックボランティア活動研究集会」でした。その中の講演会で茨城県社会福祉協議会の篠原義典部長は、ボランティア活動とは「自分の自発的意志で奉仕活動や社会活動を行う人・活動」であり、あんな力仕事(被災地での泥かきや瓦礫の撤去等々)でなくても良い、近所のゴミ拾いでも立派なボランティアだ!と言われた。

なんだその程度なら自分にも出来るじゃないか。早速取り掛かろう。

後から気が付いた、こういう個々の活動の輪が広がって団体になるならそれでも良い、そしてその団体が将来消滅するならそれも良い、別な芽がきっと吹き出す、そう割り切れば、午後の討論会で話題になったボランティアの後継者問題は存在しないのではないのでしょうか。



11/12 石岡市「ひまわりの館」にて行われました

ぼらんていあ体験リレー

「クィーンズフララ」

フラダンスでボランティア

私達のグループは、阿見町から牛久市まで、要請があればフラダンスを踊って楽しんでいただくボランティアを行っています。

夏祭りやクリスマス会、日常の憩いの時にフラダンスを観ていただく、30分程度の活動です。

訪問先は、グループホーム、デイサービスなどの介護施設が多いです。メンバーの一人一人は、民謡が得意、旅行が好き、野菜作りをしている、お話が上手、手先が器用で面倒見が良い、ハイキングや登山が好きな人など様々です。

お二人の先生はいつも笑顔で、人柄も良く、おそろいの衣装で私達の練習意欲を高めてくれます。

ボランティア先では、ご年輩の方々とお話しする時は、それぞれの趣味のお話が尽きません。その後で一緒にフラダンスを踊り、明るい笑顔を見られるのが何よりです。

みなさん、一緒に踊りませんか。中央公民館で土曜日の午前中に練習をしています。

【問い合わせ】電話 842-7937 谷 園枝

第6回傾聴ボランティア講座開催

昨年11月にいわき市に行って参りましたが、震災直後というよりは、少し落ち着いた頃に避難所で一番必要とされたボランティア活動は「傾聴」だったということをお聞きして、益々傾聴ボランティアの必要性を感じました。

現在活動をされている方、また「傾聴」ってどんなこと？と少しでも関心がある方、是非ご参加ください。

【日 時】平成26年2月28日(金)

(受付16:45 開会17:00～閉会19:30)

【場 所】町総合保健福祉会館 2F講座室

【内 容】傾聴ボランティアについての講義、演習

講師：茨城カウンセリングセンター

専任カウンセラー 伊東聡枝氏

演題「傾聴の為に大切なこと」

【対 象】町内在住、在勤者

【募集人数】30名(先着順) 【参加料】無料

【申込方法】下記へ電話、または直接申し込む

【申込締切】平成26年2月14日(金)

《定員に満たない場合は受付可》

【問い合わせ】町社会福祉協議会 地域福祉係 鈴木

電話 887-0084

ボランティア交流会開催のお知らせ

阿見町でボランティア活動をされている皆様に、阿見町善意銀行から支援を受けて交流の場を設け隔年で行っています。

今年度は、全日本仏教青年会救援委員長の米澤智秀氏をお迎えして、講話と演習を予定しています。

今回は、これからボランティア活動をしてみたいと思っている方のご参加もお待ちしております。

【日 時】平成26年3月14日(金)

(受付9:00 開会9:30～閉会15:30)

【場 所】町総合保健福祉会館 2F大会議室

【内 容】

午前：講演

演題「震災から学んだ“人と人とのつながりや支え合い”」

午後：演習

「災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営支援の仕方」

【対 象】阿見町でボランティア活動をしている方、またはこれからボランティア活動をしてみたいと思っている方

【募集人数】80名 【参加料】 無料

【申込方法】下記へ電話、または直接申し込む

【申込締切】平成26年3月7日(金)

【問い合わせ】町社会福祉協議会 地域福祉係 鈴木

電話 887-0084

親子ふれあいハイキング参加者募集 浅草ぶらり旅♪

◆日 時 3月8日(土)

◆行 先 ソラマチ隅田水族館ほか

◆対 象 ひとり親世帯の親子とその祖父母

◆定 員 60名 定員で〆切

◆参 加 費 1世帯2千円

※大人付き添い2人目から追加1人に付2千円

◆募集期間 1月27日(月)～2月14日(金)まで

◆申込方法 電話か直接下記まで申し込む

◆問い合わせ 町社会福祉協議会 地域福祉係 稲葉

電話 887-0084

さわやかセンター → 目的地 → さわやかセンター
8時出発 17時到着予定

総合相談

【心配ごと相談】

◆相談日 毎週水曜日

◆時 間 午後1時～4時(受付3時30分まで)

◆場 所 総合保健福祉会館

【弁護士相談】

◆相談日 毎月第1水曜日(月1回)

◆時 間 午後1時～3時30分

(毎週水曜日の心配ごと相談にて事前にお話しを伺い弁護士相談が必要な場合予約となります)

【福祉相談】 【介護相談】 【ボランティア相談】

◇常時受け付けています。それぞれ担当者が親身になって相談にのっております。

どうぞお気軽にご相談ください。

【問い合わせ】電話 887-0084

新入学児童・生徒への入学祝金贈呈 ご入学おめでとうございます

平成26年4月小・中学校に入学する児童・生徒の保護者に、入学祝金を贈呈します。

対 象 者 ひとり親世帯(母子・父子世帯)、要保護・準要保護世帯、交通遺児等両親のいない子の世帯、各世帯の平成26年4月新入学児童生徒

申請方法 対象者の保護者の方は、事務局(さわやかセンター内)の窓口で申請の手続きをお願いします。 ※要印鑑

申請期間 平成26年1月24日(金)から2月21日(金)

支 給 日 平成26年3月3日(月)から

問 合 せ 町社会福祉協議会 地域福祉係 酒井
電話 887-0084

編集者のひとこと

お正月気分もすっかり落ち着き、梅の香りが漂う今日この頃。ふと、昨年は、どのような年であったかと思いめぐらせてみたり……。島倉千代子さんの歌のように、人生いろいろ。今年はどんな出来事が待ち受けているのでしょうか？どんな出来事も楽しんで『なかなかどうして面白いじゃないか』とワクワクしながら、今年1年過ごしてみましようか。H・I

☆皆様からのご意見お待ちしております☆